

## —辻調グループ平成 27 年度留学生調査データ発表— 辻調グループの留学生在籍数は 5 年間で 2.2 倍に！ “和食”の世界遺産登録、“日本料理海外普及人材育成事業”の影響か

辻調理師専門学校など、東京・大阪・フランスに食のプロを育成するスクールを持つ日本最大の“食”の教育機関「辻調グループ」(大阪市、校長:辻芳樹)は、このたび、平成 27 年度在籍の留学生(165 名中、有効回答 162 名)を対象にアンケート調査を実施。その結果および動向をお知らせいたします。

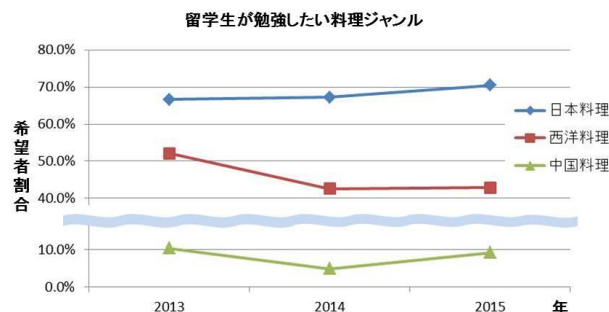
### TOPICS 留学生在籍数 8 年連続増加、5 年間で倍増！

本年度、当グループに在籍している留学生は、日本料理や西洋料理、中国料理などが学べる「辻調理師専門学校」に 98 名、洋菓子や和菓子、製パンなどが学べる「辻製菓専門学校」に 67 名と、合計 165 名となり、2007 年度の 29 名から 8 年連続で増加し、この 5 年間は留学生在籍数が 2.2 倍となりました。国別では、韓国 82 名、台湾 47 名、中国 21 名、タイ 5 名、マレーシア 5 名など合計 8 カ国から学びにきています。特に韓国からの留学生は、近年減少傾向にあったものの昨年度の 58 名から本年度 82 名に増えています。



### TOPICS 日本料理人気は、さらに上昇

アンケートの中でどのジャンルの料理を学びたいかという問いに対して、日本料理を希望する学生が、昨年度 42 名から本年度 69 名に伸び、69 名のうち日本料理だけを徹底して学びたいと答えた学生は 53 名(昨年度 33 名)となりました。2013 年の“和食”の世界遺産登録、また今年 2 月からスタートした農林水産省認可の“日本料理海外普及人材育成事業”の影響もあってか、「卒業後は日本の料理店で修業して経験を積みたい」と希望する学生や「日本料理をベースにして自国の料理と融合させたい」など意欲的な意見も多く見られました。その他、国別の傾向としては、留学生の過半数を占める韓国からの留学生のうち約 70%が料理人を希望しているのに対し、その次に留学生数が多い台湾からは、料理人よりも菓子職人を希望する学生が多い傾向にあります。また、卒業後はフランスで学ぶことを希望する学生も増えており、直接フランスにアプローチするのではなく、日本留学を足がかりにした進路選択は新しい傾向といえます。



＜留学生アンケート結果より抜粋＞ ※本調査結果データを希望される方は別途お問合せください。

#### Q. なぜ日本で料理を学ぶことにしたのですか？(FA)

- ・世界的な料理知識が勉強できるし、国も近いから(台湾 23 歳・男性)
- ・日本の技術やプロのマナーなどを勉強したい(インドネシア 28 歳・男性)
- ・なぜ日本料理が有名で世界の人に認められたのかわりたかったし、勉強したいと思いました。(韓国 26 歳・女性)
- ・韓国料理と日本料理を合わせて美味しい料理を作って世界の人に食べてほしい(韓国 27 歳・男性)

#### Q. なぜ日本で製菓を学ぶことにしたのですか？(FA)

- ・日本の製菓技術は高いと思う。洋菓子だけではなく和菓子も勉強できるし、日本の文化が好きだから(中国 24 歳・男性)
- ・日本独特の創作力、こだわりの精神を学びたいと思いました(マレーシア 35 歳・男性)
- ・日本の製菓は世界で有名だから日本でお菓子の勉強をしたら身に付くことがとても多いと思います(台湾 25 歳・女性)